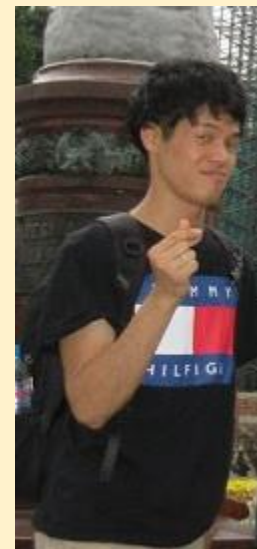




埼玉大学大学院理工学研究科
建設材料工学研究室
本田 鈴木 長谷部 中尾 保科
2018年9月18日～26日
ベトナム ハノイ、ホーチミン

長谷部 翔



ルアン先生



中尾 達志



保科 佑太

鈴木 優佑



本田 美樹

ロンビエン橋【 Cầu Long Biên 】

首都ハノイに所在するフランス植民地時代の1902年に
鉄道を結ぶ目的で建設された。鋼トラス橋。

架設から100年以上経過して
いることもあり、サビだらけで
貫禄のある橋であった。

また歩道部分は厚さ1cm~2cmのコンク
リート製の板が置いてあるだけ！それらの
隙間から橋下の道路が見えるような状態
であった。

日本では見たことがない歩道部分の状態
であったが、ベトナムではその状態で供用さ
れており、日本の基準が安全側すぎるので
はないかと考えさせられた。効率的かつ安
全なものづくりをしていきたいと考えた。



ラックフェン橋【 LACH HUYEN Bridge 】

首都ハノイから東へ100km程離れたハイフォン市に位置するPC（プレストレストコンクリート）橋。日本のODA事業として日本企業である三井住友建設とベトナム企業のJVによって建設され2017年に開通した5.4kmの海上橋梁である。



ウォールスキャナーを用いて、配筋間隔やかぶり深さ等を計測する現地調査を実施！本器機によって、橋梁の崩落の原因になりうる腐食した内部鉄筋を探知できる。

全て手動計測のため時間と人手を要する作業であると実感し、今後劣化したコンクリート構造物が増え続けることと考慮しても、ICT技術等を駆使した効率的な調査方法の開発が望まれてると再認識した。





ホーチミン市郊外にて建設中の南北高速道路パッケージJ3工事を請け負っている三井住友建設株式会社に訪問し、工事概要の説明や現場の見学をさせていただいた。

このプロジェクトは、ベトナム南部、ホーチミン市とカイメップ・チーバイ港を結ぶ高速道路全58kmの一部で、日本の政府開発援助(ODA)によって建設されている。



世界遺産にも登録されているハロン湾をクルーズで観光した。ハロン湾は、1600ほどの島々からなる海の景勝地。

少し進むと「バイチャイ橋」という、ハロン湾に架かるベトナムで初めてとなる1面吊りPC斜張橋を眺望できた。



ハロン湾にかかるバイチャイ橋



写真スポットの「闘鶏岩」



NUCEで開催されたジョイントセミナーに参加し、海外におけるベトナムの土木工学について知見を深めた。英語によるプレゼンテーションをしたこと（英語の発音が悪く伝えきれなかった...）NUCEの教授・学生達による発表を聴講し意見交換を経験できたことは、海外ならではの思い出だ。

また、セミナー後のNUCEの学生や教授陣たちとの食事を交えた意見交流会では、ベトナム料理のおいしさに感動し、ベトナム流のお酒の飲み方に驚きながら、盛大に楽しませていただいた。



橋梁の調査だけにとどまらず、ベトナムという国の文化や優しく陽気な人間性に触れたことは、今後の人生においてかけがえのない財産であり、この繋がりを大切にしていきたい。



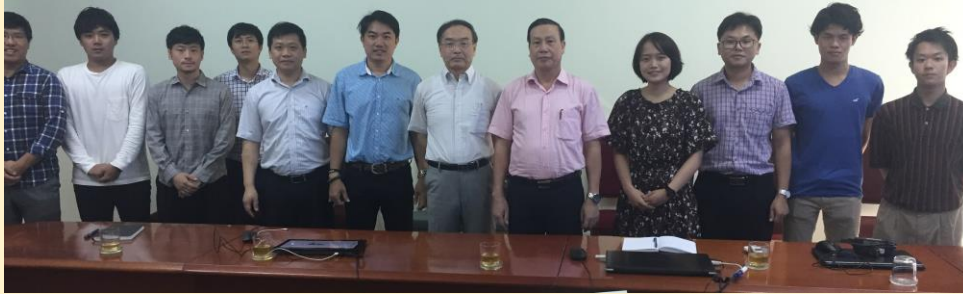
ベトナム運輸省（MOT: Ministry of Transport）の研究機関であるITST (Institute of Transport Science and Technology)を訪問させていただいた。



埼玉大学材料研OBのHA MINHさん
ベトナムのコンサルタントについて教えて
いただいた。



BỘ GIAO THÔNG VẬN TẢI
VIỆN KHOA HỌC VÀ CÔNG NGHỆ GIAO THÔNG VẬN TẢI
INSTITUTE OF TRANSPORT SCIENCE AND TECHNOLOGY - ITST



日本企業と連携して研究を行っていることを
知り、ベトナムと日本のつながりをより強く
感じられた。これからベトナムの設計コード
を作っていくというお話を伺い、発展への勢
いを感じた。



前田建設工業株式会社ハノイ事務所を訪問
させていただいた。
ベトナムで建設業に携わることのおもしろ
さについて教わった。